



2021年6月11日 第一版

2021年3月期 会社説明資料

東証第二部:9059

カンダホールディングス株式会社



経営理念



- 一、私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、 お客様と共に繁栄します。
- 一、私達は、和の精神を大切にし、社員の生活向上を目指します。
- 一、私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
- 一、私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。

目次



■ カンダグループ	の概要		■株価と配当推
会社概要		5	株価·配当推移
会社沿革		6	株価指標推移
グループ構成		7	優待制度と配当
拠点ネットワーク	1	8	▮ 2021年3月期
▮事業の概要			ネットスーパー業務
事業の特徴		1 0	紙幣入金機一体
物流サービスメニ	ia-	1 1	BtoB小口配送
取扱品目別売.	上高	1 2	チェーンドラッグス
▮ 2021年3月期	 決算概要		I E S G と B C
2021年3月期	業績概要	1 4	ESG
連結決算推移	(売上高・営業利益)	1 5	C S Rレポート
	(経常利益・当期純利益)	1 6	「ホワイト物流」
連結決算概要	(連結財務指標)	1 7	「働きやすい職
	(連結貸借対照表)	18	カンダドローンフ
	(連結キャッシュフロー)	1 9	「日販よい本い
▮ 2022年3月其	月の方針		ВСР
2022年3月期	経営方針	2 1	新型コロナウイ
2022年3月期	新規業務トピックス	2 2	安全対策

■株価と配当推移				
株価·配当推移	2 4			
株価指標推移	2 5			
優待制度と配当利回り	2 6			
▮ 2021年3月期 事業トピックス				
ネットスーパー業務	2 8			
紙幣入金機一体型金庫「CASHNET♡BOX」	2 9			
BtoB小口配送業務	3 0			
チェーンドラッグストア様向け新物流センター本格稼働	3 1			
I E S G ≥ B C P				
ESG	3 3			
CSRレポート発行(予定)	3 4			
「ホワイト物流」推進運動の自主行動宣言を提出	3 5			
「働きやすい職場認証制度」の認証取得	3 6			
カンダドローンスクール開校	3 7			
「日販よい本いっぱい文庫」への協力	3 8			
BCP	3 9			
新型コロナウイルスへの対策	4 0			
安全対策	4 1			

カンダグループの概要

事業の概要

2021年3月期 決算概要

2022年3月期の方針

株価と配当推移

2021年3月期 事業トピックス

ESGEBCP

会社概要



商号	カンダホールディングス株式会社
本社所在地	〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町三丁目2番4号
創業	1943年11月
代 表 者	代表取締役社長 原島 藤壽
資 本 金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数	連結:2,342 (2,573) 名 ※2021年3月末日現在 *2021年3月期の開示資料より従業員数の表記を実入員数に変更しております。また()内にはパート及び臨時従業員の年間平均人数を外数で記載しております。
グループ会社	27社 ※2021年3月末日現在
上場区分	東京証券取引所市場第二部
証券コード	9059

会社沿革





▮創業期

1963年:出版物共同配送開始

1945年: 定期路線便の構築

1944年:神田運送株設立

1943年:東京都神田区内の

運送会社16社の一括統合により発足

■運送業から物流業へ

2009年:持株会社体制へ移行

商号をカンダホールディングス株式会社に変更

2006年:流通加工事業者供モリコーをグループ化

2004年:東京証券取引所市場第二部へ上場

1994年:日本証券業協会に株式を店頭登録

1991年:カンダコーポレーション(株)へ社名変更

■国際物流への進出 ~ 総合物流企業を目指して

2020年: カンダリテールサポート(株) とカンダビズパートナー(株) が

事業開始

2017年: 低温輸送事業者(株)中村エンタープライズをグループ化

2015年:日本物流ネットワーク協力会(JLNA)発足

2014年: NVOCC である ニュースターライン(株)・ベルトランス(株)を

グループ化

2012年: NVOCC である(株)ハーバーマネージメント(現(株)ペガサスグローバルエクスプレス)と国内流通加工業者である(株)ジェイピーエルをグループ化/タイバンコクに現地法人

2011年:(株)ペガサスパーセルサービスより国際宅配事業部門を譲り受け (現、株)ペガサスグローバルエクスプレス)、国際物流事業に本格的に進出











グループ構成



持株会社



《 カンダホールディングス株式会社

事業会社:国内物流

カンダコーポレーション

埼玉配送

神協運輸

ワカバ運輸

ヤマナシ流通

名岐物流サービス

アサクラ

関西配送

カンダ物流

ロジメディカル

ロジメック

※2021年7月 カンダコアテクノと合併予定

レキスト

ジェイピーエル

カンダリテールサポート

カンダコアテクノ

モリコー

中村エンタープライズ



事業会社:国際物流

ペガサスグローバルエクスプレス

P G E タイ

※2021年4月 会社清算開始

P G E インドネシア

ニュースターライン

ベルトランス



機能分担会社

カンダビズパートナー

神田ファイナンス

神田エンタープライズ

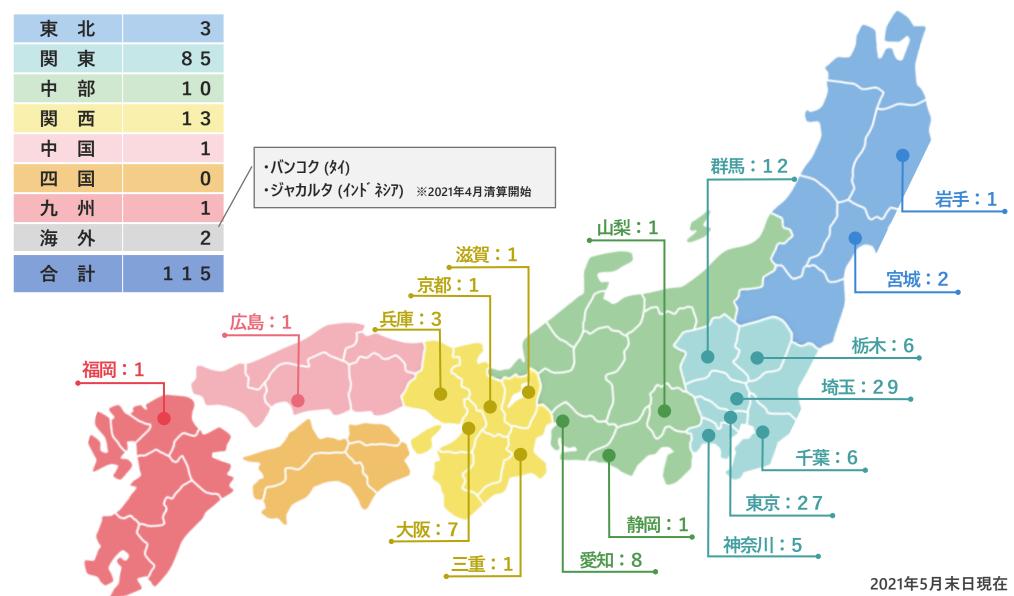
カンダハーティーサービス

2021年5月末日現在

拠点ネットワーク



■エリア別事業拠点数



カンダグループの概要

事業の概要

2021年3月期 決算概要

2022年3月期の方針

株価と配当推移

2021年3月期 事業トピックス

ESGEBCP

事業の特徴



▮ カンダグループの 4 つの強み









物流サービスメニュー



国内物流 (庫内)



物流センター(在庫型)



物流センター (通過型)



機密文書保管



社 内メールサービス



流通加工

国内物流 (輸配送)













化学薬品輸送







廃棄物 収集運搬



介護・介助 輸送



事務所移転

国際物流



国際宅配



航空輸送



海上輸送



越境EC



現地法人

情報システム



WMS

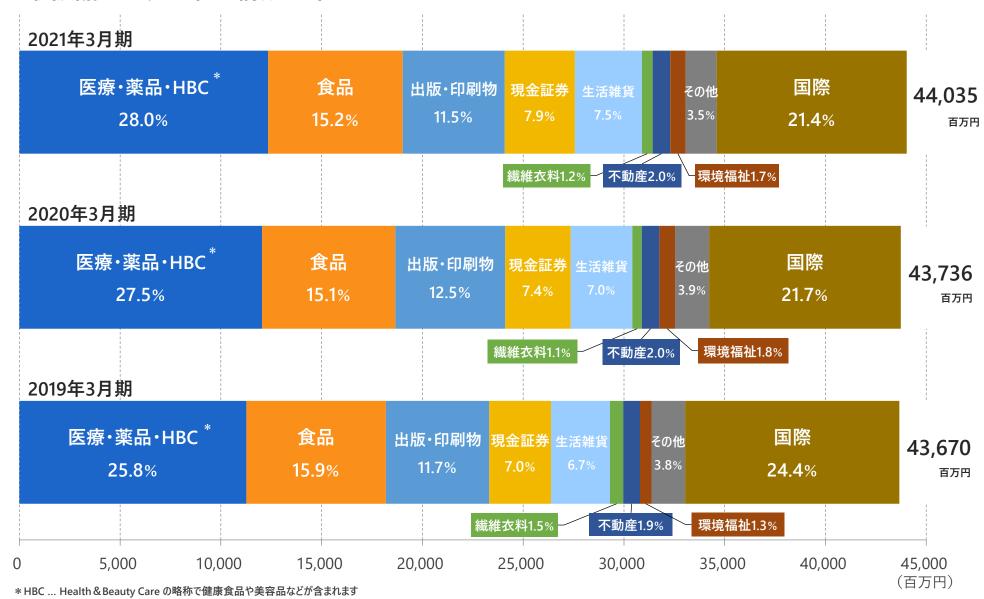




取扱品目別売上高



■取扱品目別売上高と構成比率



カンダグループの概要

事業の概要

2021年3月期 決算概要

2022年3月期の方針

株価と配当推移

2021年3月期 事業トピックス

ESGEBCP

2021年3月期 業績概要



■セグメント別業績



*「その他」セグメント:太陽光発電業、コンピューターソフト開発業、保険代理店業、リース業、部品販売業、清掃業の総額です。

売上高

国内:新型コロナウイルスの影響により全般的に貨物量が減少している中、食品・衛生用品・日用雑貨等の増加により増収。

国際:新型コロナウイルスの影響により、特に当期前半において航空貨物の取扱量が減少したため減収。

営業利益

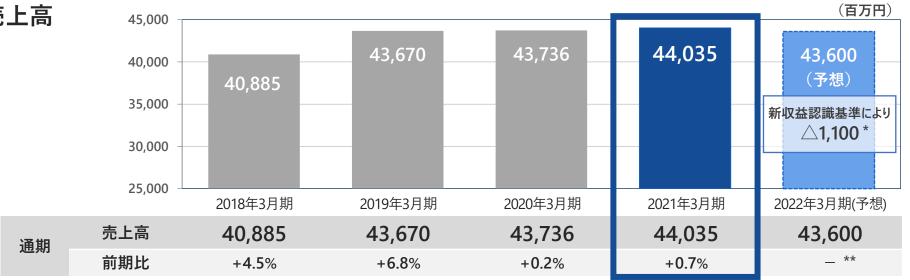
国内:燃料価格の下落による燃料費の減少や、適正運賃の確保、経費削減の効果等により増益。

国際:適正運賃の確保、経費削減の効果により増益。

連結決算推移

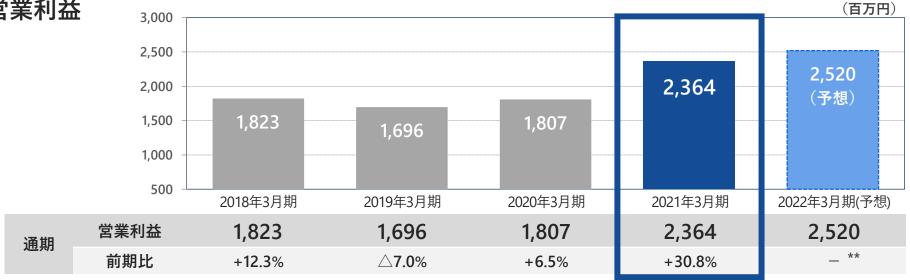






^{*2022}年3月期の売上高予想につきまして、新収益認識基準の適用により1,100百万円の減収を見込んだ数値となっております。

■営業利益

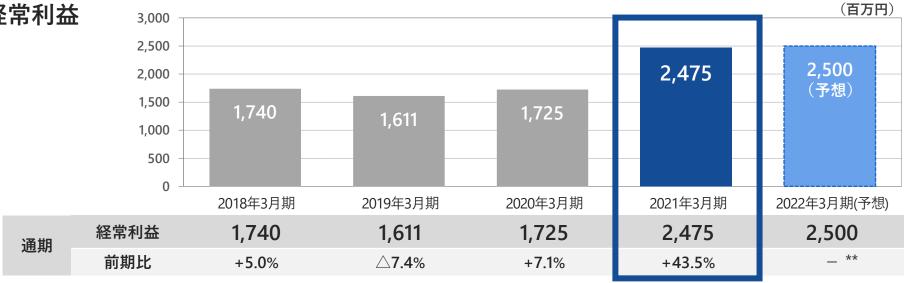


** 2022年3月期の予想は新収益認識基準を適用した後の金額となっていることから、前期比は記載しておりません。

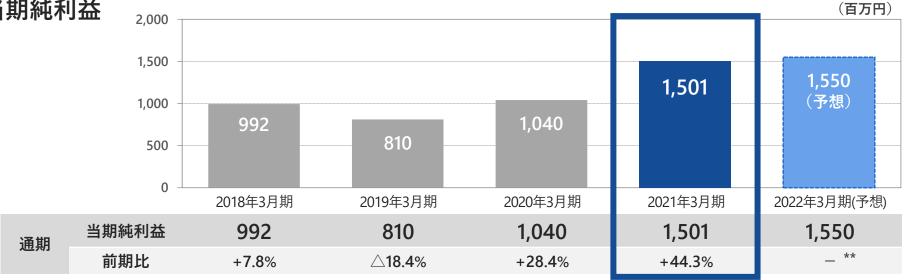
連結決算推移







■当期純利益



** 2022年3月期の予想は新収益認識基準を適用した後の金額となっていることから、前期比は記載しておりません。

連結決算概要



■連結財務指標

改善 横ばい 🗪 悪化 🖠

							_
		2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	
総資産	(百万円)	36,393	39,317	39,487	39,562	40,831	
純資産	(百万円)	15,492	16,364	16,910	17,681	19,138	A
1株あたり純資産 (BPS)	(円)	1,436.55	1,515.78	1,566.44	1,639.26	1,776.82	~
1株あたり当期純利益(EF	PS) (円)	85.53	92.21	75.27	96.65	139.48	~
自己資本比率	(%)	42.5	41.5	42.7	44.6	46.8	4
自己資本利益率(ROE)	(%)	6.1	6.2	4.9	6.0	8.2	4
総資産経常利益率	(%)	4.6	4.4	4.1	4.4	6.2	4
売上高営業利益率	(%)	4.1	4.5	3.9	4.1	5.4	~
売上高経常利益率	(%)	4.2	4.3	3.7	3.9	5.6	4
負債資本倍率(D/Eレシオ)	(倍)	0.54	0.59	0.58	0.49	0.40	4
有利子負債	(百万円)	8,284	9,690	9,783	8,635	7,704	4
債務償還年数	(年)	2.8	4.4	3.8	2.9	2.5	4

連結決算概要



■連結貸借対照表

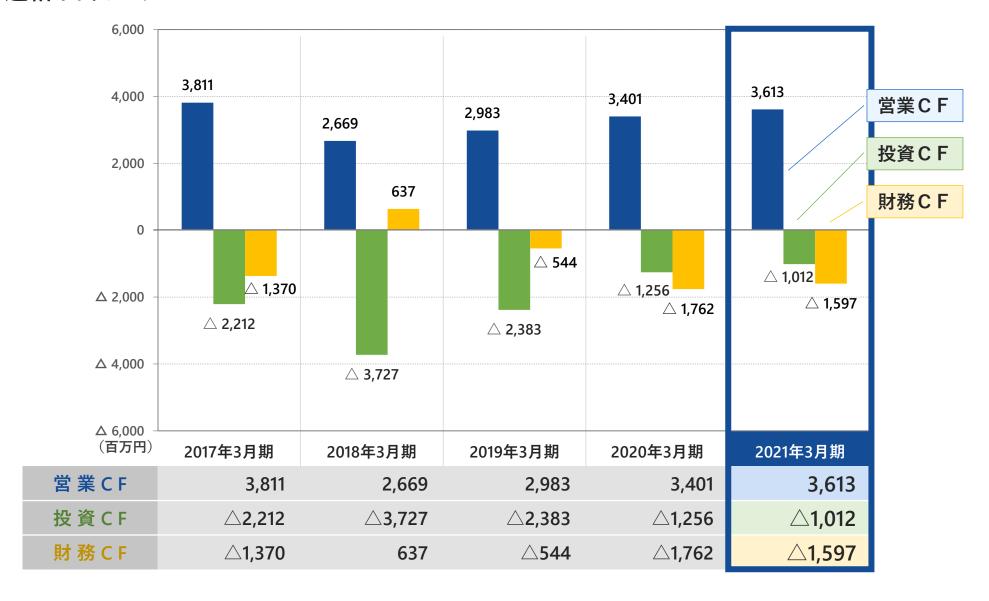
単位:百万円

		2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
	流動資産	13,055	13,496	13,247	13,324	14,671
	固定資産	23,337	25,821	26,239	26,238	26,160
資	産合計	36,393	39,317	39,487	39,562	40,831
	流動負債	10,777	12,278	13,142	12,565	13,474
	固定負債	10,123	10,674	9,434	9,315	8,218
負	遺合計	20,900	22,953	22,577	21,881	21,693
糾	資産合計	15,492	16,364	16,910	17,681	19,138
負	債・純資産の合計	36,393	39,317	39,487	39,562	40,831

連結決算概要



■連結キャッシュフロー



カンダグループの概要

事業の概要

2021年3月期 決算概要

2022年3月期の方針

株価と配当推移

2021年3月期 事業トピックス

ESGEBCP

2022年3月期 経営方針



~ 変化の年を『シンカ』の年にしよう ~

状況の変化を前向きに捉え、『進化』『深化』『真価』する年へ

- 1. 既存顧客&協力会社との取引の『深化』
 - 既存顧客の業容拡大 利益確保の追求 アライアンスの強化
- 2. コンプライアンス遵守に向けた透明性のある業務への『進化』
 - 属人化した業務体制からの脱却 働き方改革への対応
- 3. 将来を見据えた『真価』の創造
 - 新規業務の獲得 先端技術の活用 組織体制の変更
- 4. 交通事故、労災事故の防止
 - 安全対策機器(IT点呼カメラ、ドラレコ、デジタコ等)の有効活用

2022年3月期 新規業務トピックス



■ トピックス

- □ 【5月】三重県四日市市にてDC業務が開始 ペット用品卸様の小売量販店向け業務が開始いたしました。
- 【8月】前期より稼働した大型物流センターにてDC業務が開始(予定) 稼働中のTC業務とは別に、医薬品卸様の業務が開始される予定です。

※上記予定案件は、お客様との間で決定となった事項について記載しておりますが、業務の開始及びその時期、また開始された案件につきましては、その継続性について保証するものではございません。









カンダグループの概要

事業の概要

2021年3月期 決算概要

2022年3月期の方針

株価と配当推移

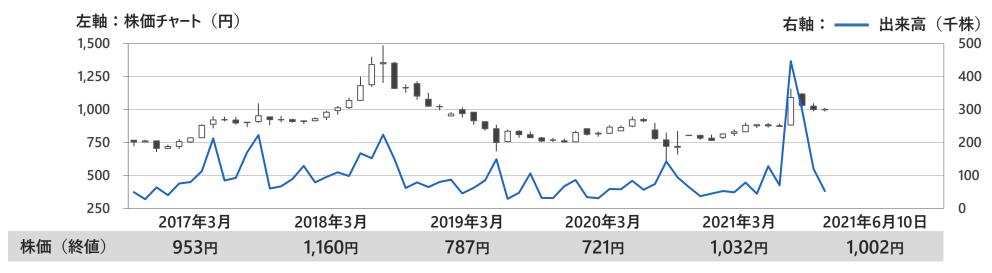
2021年3月期 事業トピックス

ESGEBCP

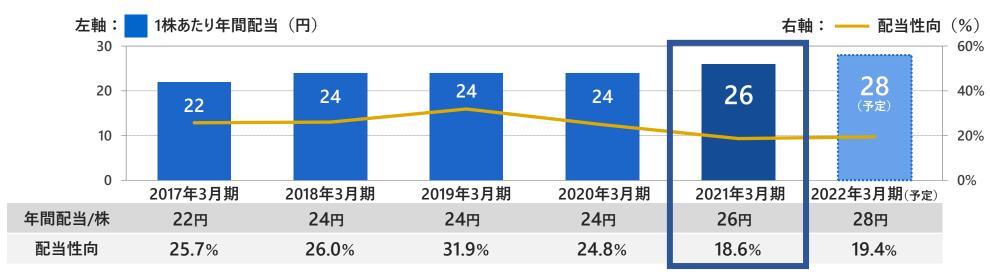
株価·配当推移



■株価・出来高



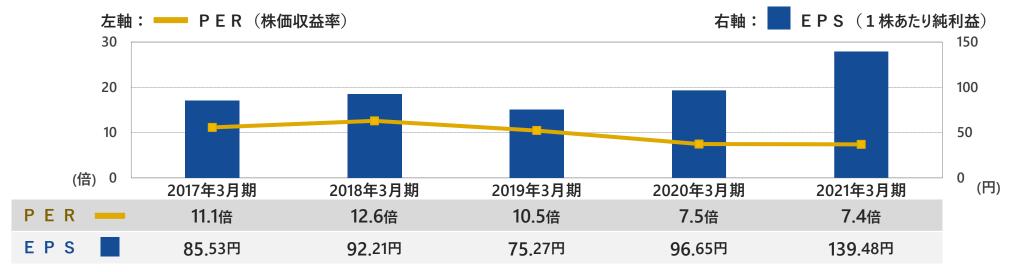
■配当·配当性向



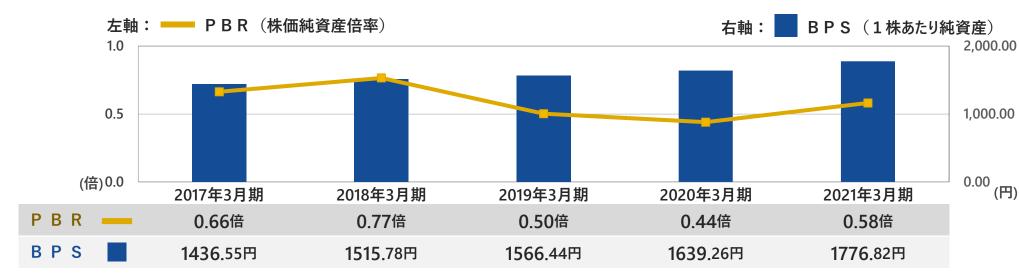
株価指標推移







$IPBR \cdot BPS$



優待制度と配当利回り



■株主優待制度

保有株式数	株主	達優待
100株以上	図書カード	1,000円分
500株以上	図書カード	2,000円分
1,000株以上	図書カード	3,000円分
2,000株以上	図書カード	4,000円分
3,000株以上	図書カード	5,000円分

対象:毎年3月31日現在の株主名簿に記載された100株以上保有の株主様



■配当利回り

【配当利回り計算】

単元株100株を、株価 1,002円 でご購入頂くと... ※2021年6月10日終値

配当2,600円 + 株主優待1,000円 > 実質配当金額3,600円 <u>配当利回り 3.5 9%</u>

カンダグループの概要

事業の概要

2021年3月期 決算概要

2022年3月期の方針

株価と配当推移

2021年3月期 事業トピックス

ESGEBCP

ネットスーパー業務



■大手総合スーパー様の店舗に常駐して梱包から配送を行う、「ネットスーパー業務」を開始しております。

【作業イメージ】



【受託店舗】

業務開始		店舗所在地
2020年 5月		神奈川県横浜市戸塚区
10月		神奈川県横浜市鶴見区
10月		千葉県千葉市稲毛区
11月		東京都板橋区
	12月	千葉県船橋市
2021年	1月	東京都目黒区
	4月	東京都江東区(今期受託)



- ▷ 食品の庫内作業や宅配業務で培ったノウハウを活かして、2020年5月より業務を開始しております。
- 今後も南関東エリアを中心として、受託店舗の増加が予定されております。

紙幣入金機一体型金庫「CASHNET♡BOX」



■警備輸送業を行うカンダリテールサポート㈱が紙幣入金機一体型金庫をリリースしております。



特許出願中商品(出願番号 特願2020-95159)

【開発経緯】

本製品は、お取引を頂いている店舗様が抱える「現金管理にコストをかけられない」、「人手が足りない」、「夜間金庫の利用はセキュリティ面で不安」といったお悩みを解決するために開発いたしました。

さらに弊社の最適釣銭配金システムと連携することで、店舗様、運営本部様の現金管理に関わる手間やコストを大きく低減いたします。

【製品の特徴】

- 必要な機能に絞ることでローコストでご提供
- 入金機と金庫を一体化することで省スペース化を実現
- ネットワーク機能付きでデータの一元管理が可能
- 無人での金銭授受により店舗の少人数化が可能
- 事件・事故発生時の補償対応付き

Chiyoda

「東京靴流通センター」「シュープラザ」などの靴・衣料チェーンを全国展開する株式会社チョダ様には、安全面の向上や夜間の人手不足解消など、店舗運営の効率化に貢献できるものとして導入を決定頂きました。 当面100店舗から設置し、今後の拡大についても検討を頂いております。

- ▷ キャッシュレス時代を見据えて開発した業界初の紙幣入金機一体型金庫で、ビジネス特許を出願中です。
- ▷ 今後も新たな製品やシステムの提供を通じて、店舗様の現金管理をトータルサポートしてまいります。

BtoB小口配送業務



■カンダ物流㈱にて群馬県全域におけるBtoB小口配送業務を開始しております。





荷物 オフィス用品、オフィス家具、工具類など

納品先 オフィス・店舗・工場・学習塾・学校・病院など

北関東主管 : 館林市、太田市、桐生市、みどり市、邑楽郡

管轄伊勢崎:伊勢崎市、前橋市、佐波郡

高崎:高崎市、渋川市、沼田市、安中市、藤岡市その他

個数 約4,000個/日

車両 ワゴン及びトラック 計63台 (北関東主管18台 / 伊勢崎18台 / 高崎27台)

- ▷ カンダ物流が面でカバーする北関東エリアの配送網を活かして、2020年8月より業務を開始しております。
- ⇒ 今後も、グループが長年にわたり培ってきた輸配送ネットワークを活用して、事業の拡大に努めてまいります。

チェーンドラッグストア様向け新物流センター本格稼働



■ 新宿新都心から20km圏内に大型物流センターを開設しております。





名称	ロジメディカル さいたま第二営業所
所在地	埼玉県新座市大和田(賃借物件)
アクセス	関越自動車道所沢ICより2km
延床面積	約5,435坪(賃借部分2F·4F合計)

- ▽ 2Fのチェーンドラッグストア様TC業務に加え、2021年8月より4Fでも新たなDC業務が開始予定です。
- ▷ 既に約130名の物流スタッフが活躍しており、今後 更にスタッフを増員していく予定です。

カンダグループの概要

事業の概要

2021年3月期 決算概要

2022年3月期の方針

株価と配当推移

2021年3月期 事業トピックス

ESGEBCP



■物流事業を通じて社会の課題解決へ向けた活動を推進してまいります。





- ・低燃費車への代替及びEV車試験導入
- ・物流施設の屋根を利用した太陽光発電
- ・低炭素型本社ビルの竣工
- ・グリーンエコプロジェクトへの参画

社会【Social】

経営理念

- ・特例子会社による障がい者雇用促進
- ・地域貢献活動の推進
- ・女性管理職の登用拡大
- ・事業所内保育施設の開園(2ヶ所)

企業統治【Governance】

- ·内部統制(会社法、J-SOX等)強化
- ・コーポレートガバナンス・ガイドラインの策定
- ・監査項目の刷新
- ·ISO27001の認証取得

CSRレポート発行(予定)



■ 当社のCSR活動をESGの観点からまとめた「CSRレポート」の発行に向けて準備中です。





- ※上記は現在制作中のイメージ図であり、発行時には異なる可能性がございます。
- ▷ 社会との共生を目指して推進してきた活動を、ステークホルダーの皆様にお伝えすべく発行を予定しております。
- ▷ これからも「物流を通じて社会の発展に貢献します」の理念のもと、積極的なCSR活動に取り組んでまいります。

「ホワイト物流」推進運動の自主行動宣言を提出



■国が推進する「ホワイト物流」推進運動に賛同し自主行動宣言を提出いたしました。

「ホワイト物流」推進運動とは・・・

国土交通省、経済産業省、農林水産省が推進する、物流業界において深刻化が続くドライバー不足に対応し、 生産性の向上や物流の効率化に取り組むことで、よりホワイトな労働環境の実現を目指す運動です。

「ホワイト物流」推進運動ポータルサイト https://white-logistics-movement.jp/



荷主企業・物流事業者・配送協力会社が 相互協力して物流の効率化に取り組みます。

【自主行動宣言】

- 1. 物流の改善提案と協力
- 2. 荷主側の施設面の改善
- 3. 高速道路の利用
- 4. 運賃と料金の別建て契約
- 5. 荷役作業時の安全対策
- 5. 異常気象時等における運行の中止・中断等

※宣言提出会社

カンダコーポレーション(株) / (株)カンダコアテクノ / カンダリテールサポート(株) / カンダ物流(株)

- ▷ 物流業界が抱える労働力不足の課題解決となるよう、宣言に則した企業活動に取り組んでまいります。
- ▶ 輸配送の効率化によるCO2排出量の削減や、BCPの観点からも本取り組みに賛同しております。

「働きやすい職場認証制度」の認証取得



■ 国が推進する「働きやすい職場認証制度」においてグループの16営業所が一つ星を取得いたしました。

「働きやすい職場認証制度」とは・・・

自動車運送事業におけるドライバー不足の解消に向けて国土交通省、厚生労働省が推進する取り組みで、トラック運転手の労働条件・労働環境を認定団体が公正に評価し、優良な職場環境の運送事業所として認証を受けることができる制度です。 ※今後「一つ星」「二つ星」「三つ星」の3段階認証が予定されており、現時点では試行実施期間として「一つ星」のみ取得が可能です。

【一つ星認証の審査要件】

認証項目	判定内容(一部抜粋)		
1. 法律遵守	労働基準法、36協定等の違反有無		
2. 労働時間・休日	長時間労働の管理、休日取得への取り組み状況		وَ
3. 心身の健康	健康診断の実施、ハラスメント相談窓口の設置状況	1	3
4. 安心·安定	定年延長制度の有無、時間外手当の支払い状況		
5.多様な人材の確保・育成	運転免許取得支援制度の有無、女性運転手の働きな	o すさ	

認証取得状況 ※2021年5月末日現在

カンダコーポレーション(株) 4営業所、カンダリテールサポート(株) 4営業所、カンダ物流(株) 8営業所



- ▷ この認証を、日頃から取り組む「働きやすい職場環境の整備」の指標として、有効に活用してまいります。
- 今後「二つ星」「三つ星」の認証制度が確定され次第、より良い認証の取得に向け取り組んでまいります。

カンダドローンスクール開校



■ 社内研修施設(足利教育研修所)にJUIDA認定のドローンスクールを開校いたしました。

※JUIDA=一般社団法人日本UAS産業振興協議会

ドライバー不足や過疎地への配送等の課題解決に向け、日本においても本格的な社会実装研究が進められているドローン(無人航空機)のパイロットを育成するため、社内研修施設内にスクールを開校いたしました。

ドローンスクール 概要

	77 170 X	
開校	2021年4月	2 1
名称	カンダドローンスクール	Urillo
運営	(株)神田エンタープライズ	KANDA SKEILURASS
施設	社内研修施設「足利教育研修 栃木県足利市島田町604	所」
コース	JUIDA認定コース 2.5日間【操縦技能+安全運航行	管理】
取得 可能資格	JUIDA「無人航空機操縦技能記「無人航空機安全運航管理証明	· —







カンダドローンスクールHP: https://wxptc.crayonsite.com/

- ▷ 上空から撮影したトラックの挙動からドライバーの運転特性を分析し、安全教育・指導に活用しております。
- ▷ドローンが活用されるであろう将来に向けて、人財の育成に取り組んでおります。

「日販よい本いっぱい文庫」への協力



■日本出版販売株式会社様の社会貢献活動「日販よい本いっぱい文庫」に協力しております。

「日販よい本いっぱい文庫」とは・・・

1964年より日本出版販売株式会社様と日本児童図書出版協会様が主催している社会貢献活動で、毎年、出版社から寄贈された児童書を、厚生労働省の後援を得て、全国の児童養護施設・母子生活支援施設・障がい児支援施設・小児医療施設・おもちゃ図書館等にクリスマス時期にお届けをする活動です。













2020年度 弊社お届け先件数

北海道	12箇所
栃木県	13箇所
群馬県	6 箇所
埼玉県	10箇所
山梨県	2 箇所
大阪府	6 箇所
沖縄県	10箇所
計	5 9 箇所

- ▷ 日本出版販売様の活動主旨に賛同し、毎年、引き取りからお届けまでを無償で協力させて頂いております。
- ▷ 社会貢献活動の一つとして、今後も本活動に協力してまいります。

BCP



■災害への備え

【基本方針】

- ・従業員とその家族の安全・安心を最優先に活動します。
- ・施設、設備についての予防措置及び支援物資の確保を行います。
- ・事業存続及び早期復旧を目指した体制を確立します。
- ・地域社会の一員として貢献します。
- ・従業員の定期的な教育訓練と計画の定期的な見直しを行います。

■食料・飲料水の備蓄■



災害対策本部となる本社事務所では 本社従業員数の5日分にあたる 食料・飲料水を備蓄しております。

■ 緊急時連絡体制 ■



電話回線が不通になる事態に備え、 全国13の営業所に衛星携帯電話 を設置しております。

■ 燃料確保



インタンクに燃料を備蓄している他、 提携企業と燃料の優先供給に関する 協定を締結しております。

▮非常用自家発電設備▮



停電等のリスクを鑑みて一部の物流施設では非常用自家発電設備を設置しております。

■ データバックアップ |



情報資産を守るため、データのバックアップセンターを関東地区に設置しております。

■ 高耐震施設 ■



災害対策本部となる本社ビル及び自 社物流施設では、建築基準法の規定 を上回る耐震性能で建築しております。

▷ 予想される重大な災害等(自然災害・感染症等)により甚大な被害が発生した場合においても、物流サービスの継続的な 提供により社会貢献を行うことを目的として『BCP基本方針』を定め『事業継続計画』を策定しております。

新型コロナウイルスへの対策



■コロナ禍における当社の社会的使命

物流は重要な社会インフラである

物流とは社会経済活動を支える重要なインフラであり、特に医薬品や食料品など生活に欠かせない荷物の取り扱いが多い当社においては、「物流を止めないこと」こそが果たすべき使命であると考えております。

このコロナ禍においても、お客様、従業員、荷物の安全に十分配慮した上で日夜企業活動を継続してまいります。

■感染の予防、拡大防止に向けた取り組み















社内通達

安全対策



- 安全と生命はすべてに優先する「交通事故」や「労働災害」の発生防止
 - 2022年3月期スローガン
 『安全は自分自身の心掛け!
 安心は相手を気遣う思いやり!』
 - 2022年3月期安全対策費用予算)7,500万円 (2021年3月期実績7,000万円)
- 2022年3月期活動予定(一部抜粋)
- ・Gマーク認証の新規、継続取得 全39事業所中、36事業所で認定 ※2021年3月末日現在
- ・社内ライセンス「セーフティアドバイザー」の養成
- ・安全講習会の実施
- ・初任者向け実車研修(足利教育研修所)
- ・新型ドライブレコーダーを活用した安全教育の実施
- ・クラウド型デジタルタコグラフへの機種変更拡大
- ・点呼確認カメラを車両保有全事業所に導入設置
- ・ドライブシミュレーターを活用した危険運転体験講習実施
- ・危険感受性の共有を目的とした動画KYT講習の実施
- ・アルコール測定連動型免許リーダーを全事業所に導入







本資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等について記載された内容を確約したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取り巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらしうることがあることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。

🕊 カンダ ホールディングス

お問合せ先: カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話: 03-6327-1811(代) FAX: 03-6327-1800

ホームページ: https://kanda-web.co.jp/

e-mail: hd-soumu@kanda-web.co.jp